

## 情報を収集し、個の実態に応じた表現方法で発信していく学習活動

自立活動・中学校1～3年特別支援学級・マイ・サポートマップを作ろう

ねらい：自分の障害の特性について理解した上で、日々の生活や災害時にどのような困難が考えられるのか想定する。

状況に応じた福祉サービスやサポートについての情報を収集し、その中から自分にはどのようなサポートが必要であるか考え、サポートマップを作成して身近な人々と共有していくことができるようにする。

1 健康の保持 3 人間関係の形成 4 環境の把握

### 期待される効果

インターネット等から豊富な情報に触れたり、オンラインで様々な人々と関わったりする体験を通して自分の視野を広め、自分の障害の特性に合わせて、自ら生活環境に主体的に働きかけようとする意欲を高めることができる。機器の操作やコミュニケーション面で困難さがあるときは、補助具やICT機器の代行機能を適切に活用できる力を養うことができる。

使用する機能：文字入力、画像編集、プレゼンテーション、画面共有 等

使用するアプリ：ウェブブラウザ、PowerPoint、Zoom、SKYMENU Class、  
(実態に応じて) スクリーンリーダー、文字変換アプリ 等



### 学習活動

	活動内容	活用ポイント／留意点	
導 入	<input type="checkbox"/> 一斉 前時の振り返り	1 前時の振り返り ・地震が起きたときに想定される状況や困難さについて振り返る。	・具体的な状況が想起できるように、前時までに調べたことや学校での避難訓練のスライドを準備しておき、拡大表示で画面を共有しながら確認する。
	課題の確認 <input type="checkbox"/> 個別	2 学習課題、活動の流れの確認 課題：地震が起きたときに必要な備えやサポートについて考えよう。	
展 開	<input type="checkbox"/> グループ 調査活動	3 避難時に必要な備えやサポートについての検索 ・インターネットで調べたり、障害種によっては地域の福祉センター等にオンラインで問い合わせたりする。	・文字入力の際、キーボード操作が困難なときは、補助具や音声入力機能等を活用する。 ・オンラインで会話するときは、相手とどのようにコミュニケーションをとるのか事前にルールやマナー等を具体的に確認しておく。
	<input type="checkbox"/> 個別 <input type="checkbox"/> 一斉 まとめ 振り返り	4 本時のまとめと振り返り 5 次時の確認	